

中学校昼食サポート事業（素案）のご意見をお寄せください（意見公募）

本市では、中学生の昼食に関する現状を把握するため、生徒・保護者等を対象にアンケート調査を実施したところ、様々な理由から簡単な昼食で済ませている生徒も少なくありません。生徒の栄養摂取等の面から何らかの対策が必要と考えます。

今までどおり、家庭の弁当を持参することは継続しながら、成長期にある中学生に、栄養バランスのとれた弁当類をスクールランチとして学校内で希望者に販売する「中学校昼食サポート事業」を計画しました。

今回、その素案ができましたので、皆様のご意見をお寄せください。

アンケート調査の結果（概要）及び中学校昼食サポート事業（素案）の全文は、教育委員会総務課・改革推進室情報公開コーナー、春木・山直・東岸和田の各市民センター、山滝支所又は市ホームページでご覧いただけます。

- ・ 意見募集期間 11月15日（水）～12月18日（月）
- ・ 意見提出方法 住所、氏名、電話番号と意見を記入し、直接持参または郵送かファックス、電子メールで総務課（郵送：〒596 - 8510 岸城町7番1号、ファックス：433 - 4525、電子メール：ksoumu@city.kishiwada.osaka.jp）
- ・ 問合せ 総務課保健給食担当 423 - 9608

アンケート調査の結果（抜粋）

この調査は、岸和田市立の全中学校において、各学年ごとに1学級の生徒及びその保護者並びに教職員を対象として、平成18年7月に実施しました。

項目	生徒	保護者	教職員
回答総数	1096人	799人	278人

(1) お昼は何を食べていますか。

項目	生徒	保護者	教職員
家庭の弁当	78%	/	/
学校外で買う弁当類	21%		
その他	1%		

(2) どのような昼食を食べたい（食べさせたい）と思いますか。

項目	生徒	保護者	教職員
家庭の弁当	56%	51%	92%
学校外で買う弁当類	15%	1%	0%
スクールランチ	23%	23%	4%
その他（給食など）	6%	25%	4%

(3) スクールランチが実施された場合、利用したいと思いますか。

項目	生徒	保護者	教職員
毎日利用したい	9%	10%	10%
時々利用したい	79%	82%	54%
利用したくない	12%	8%	36%

基本的な考え方

(1) 弁当とスクールランチの選択制

今までどおり、家庭の弁当を持参することは継続しながら、業者の作った弁当類をスクールランチとして学校内で希望者に販売します。

(2) 栄養バランス・安全の確保と利用し易い価格

スクールランチの内容は、栄養バランスや安全に配慮し、価格は、できる限り利用し易い料金とします。

具体的な方法

(1) 調理及び配送

スクールランチは、業者が調理場・食材等を使用して調理し、容器に盛り付け指定された時間に学校に届けます。

(2) メニュー及び栄養バランス

内容は、主食と副食で構成された日替わりメニューとします。

業者が作成した献立表の内容を教育委員会で確認し、必要に応じて食材・栄養価等の指示・調整を行います。

(3) 価格及び代金徴収

価格は、1食400円程度を予定しています。

代金は、生徒が業者から食券を購入することにより、支払うこととします。

(4) 注文及び受渡

注文は、原則として事前予約とし、当日も受け付けます。

受渡は、昼休みに業者から受け取ります。

(5) 衛生管理

教育委員会の作成した衛生管理基準に基づき、業者は、調理・配送等の業務を実施します。

(6) 業者選定

業者は、調理・衛生管理能力等に優れた業者を選定します。

中学校における昼食に関するアンケート調査の結果(概要)

調査は、岸和田市立の全中学校において、各学年ごとに1学級の生徒及びその保護者並びに教職員を対象として、平成18年7月に実施しました。調査の結果(概要)は、以下のとおりです。

項目		回答	生徒	保護者	教職員	
回答総数			1096人	799人	278人	
昼食の現状	(1)昼食の現状 お昼は何を食べているか	家庭の弁当 学校外で買う弁当類 その他	78% 1058人 21% 290人 1% 16人	生徒のみ調査	生徒のみ調査	
	(2)昼食への願望 どのような昼食を食べたい(食べさせたい)と思うか	家庭の弁当 学校外で買う弁当類 スクールランチ その他 (学校給食)	56% 606人 15% 157人 23% 246人 6% 67人 (3%) (29人)	51% 404人 1% 9人 23% 183人 25% 197人 (21%) (165人)	92% 255人 0% 1人 4% 10人 4% 11人 (3%) (7人)	
現状と意識	昼食への願望に答えた人	家庭の弁当を食べたい(食べさせたい)と答えた人の理由	弁当を食べたい 体調や好みに合う 親と子のふれあい その他	43% 262人 42% 258人 3% 16人 12% 72人	19% 79人 42% 177人 31% 132人 8% 34人	1% 3人 30% 73人 65% 158人 4% 9人
	家庭の弁当以外(食べさせたい)と答えた人の理由	メニューを選びたい 弁当作るのが大変 持っていくのが面倒 その他 (その他の理由)	57% 46人 26% 21人 10% 8人 7% 6人	28% 104人 25% 93人 2% 7人 45% 174人	0% 0人 43% 9人 0% 0人 57% 12人	
				給食は栄養バランスが良いから 弁当は内容が偏るから 弁当は夏場の衛生面が心配	生徒が選択する力をつけるため	
スクールランチのニーズ	(3)ニーズ スクールランチを利用したいと思うか	毎日利用したい 時々利用したい 利用したくない	9% 100人 79% 828人 12% 131人	10% 76人 82% 640人 8% 64人	10% 26人 54% 143人 36% 96人	
	利用したいと答えた人	スクールランチに望むこと	安全であること 栄養バランス おいしいこと メニューを選べること 値段が安いこと その他	14% 124人 14% 126人 24% 213人 29% 264人 14% 126人 5% 48人	32% 224人 45% 309人 6% 44人 12% 86人 4% 25人 1% 4人	34% 87人 41% 102人 8% 21人 8% 20人 6% 16人 3% 7人
		スクールランチの金額はどれくらいが妥当か	300円 400円 500円 その他	保護者・教職員のみ調査	46% 319人 43% 293人 6% 38人 5% 33人	48% 127人 39% 104人 6% 17人 7% 20人
朝食の現状	(4)朝食の現状 朝食を食べているか	毎日食べている 食べる時と食べないときがある まったく食べない	70% 762人 24% 265人 6% 61人	生徒のみ調査	生徒のみ調査	

中学校における昼食について、学校給食の実施を含めて、自由な意見を求めたところ、主な意見は、以下のとおりでした。

生徒の意見 (回答総数1096人のうち262件)

主な意見	件数
給食を実施して欲しい	55件
弁当を食べたいが、時々スクールランチも利用したい	48件
今のままでいい(弁当持参)	40件
給食はイヤだ	30件
食べるものや食べる場所を自由に選びたい(食堂)	21件
スクールランチは、安全でおいしかったら利用したい	12件
いろいろなメニューを取り入れてほしい	11件
弁当が無いとき、スクールランチがあれば便利だ	6件
スクールランチは、温かいから利用したい	1件
その他	38件
合計	262件

保護者の意見 (回答総数799人のうち310件)

主な意見	件数
給食を実施して欲しい	141件
弁当を作るが、スクールランチがあれば助かる	43件
当面スクールランチを実施し、将来は給食を検討して欲しい	38件
弁当を作るのは親の責任だと思う	15件
スクールランチを実施するなら、安全面・衛生面を十分に検討して欲しい	15件
スクールランチを実施するなら、お金のトラブルが心配なので、購入方法を検討して欲しい	12件
スクールランチを実施するなら、早期に実施して欲しい	10件
弁当とスクールランチの選択制がよいと思う	4件
その他	32件
合計	310件

教職員の意見 (回答総数278人のうち78件)

主な意見	件数
現状では学校給食の実施は困難だと思う	17件
今の弁当方式を尊重すべきだと思う	12件
学校給食を実施すべきだと思う	11件
弁当とスクールランチの選択制がいい。	11件
スクールランチは、親が安易に利用するので反対だ	7件
スクールランチは、お金のトラブルが心配だ	5件
その他	15件
合計	78件

中学校昼食サポート事業の概要(素案)

事業の趣旨	<p>岸和田市教育委員会は、中学生の昼食に関する現状と意識をアンケート調査したところ、多数の生徒が家庭の弁当を持参しているものの、様々な理由で簡単な昼食で済ませている生徒も少なからずおり、生徒の栄養摂取の面から何らかの対策が必要と考えます。</p> <p>成長期にある中学生に栄養バランスのとれた安全な昼食を提供することを目的に、早期に、しかも最小の経費で実施可能な対策として「中学校昼食サポート事業」を実施します。</p>
基本方針	<p>(1) 弁当とスクールランチの選択制</p> <p>今までどおり、家庭の弁当を持参することは継続しながら、業者の作った弁当類をスクールランチとして学校内で希望者に販売します。</p> <p>(2) 栄養バランス・安全の確保と利用し易い価格</p> <p>スクールランチは、栄養バランスや安全に配慮した、中学生の昼食に相応しい内容とするとともに、価格は、できる限り利用し易い価格とします。</p>
スクールランチの具体的な方法	
(1) 調理及び配送	<p>調理は、事業者が自らの調理場、食材等を使用して行います。</p> <p>配送は、容器に盛り付け、指定された時間内に学校に届けます。</p>
(2) メニュー及び栄養バランス	<p>食事内容は、主食と副食で構成された、日替わりメニューとします。</p> <p>教育委員会が指示し、業者の作成した献立表の内容に基づいて、あらかじめ使用食材・栄養価・カロリー等を確認します。</p>
(3) 価格及び代金徴収	<p>価格は、1食400円程度のできる限り利用し易い価格を予定しています。</p> <p>代金は、生徒が業者から食券を購入するときに、その都度支払うこととします。</p>
(4) 注文及び受渡	<p>注文の方法は、事前予約としますが、当日申し込みも受付します。</p> <p>受渡は、午前の授業終了後、食券と引き換えに業者から受け取ります。</p>
(5) 衛生管理	<p>教育委員会は、新たにスクールランチの衛生管理基準を作成します。</p> <p>業者は、衛生管理基準に基づき、調理・配送等の業務を実施します。</p>
(6) 業者選定	<p>業者は、調理・衛生管理能力等の一定の条件を設けて募集します。</p> <p>応募内容等を審査のうえ、スクールランチ販売業者を選定します。</p>
(7) 今後の予定	<p>できる限り早い時期に、中学校1校において試行を実施し、スクールランチのニーズ及び効果等を把握したうえ、本格実施を検討します。</p>